

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 05月 27日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県富士市松岡1566-1

氏名 平和建設株式会社

久保田貴久

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

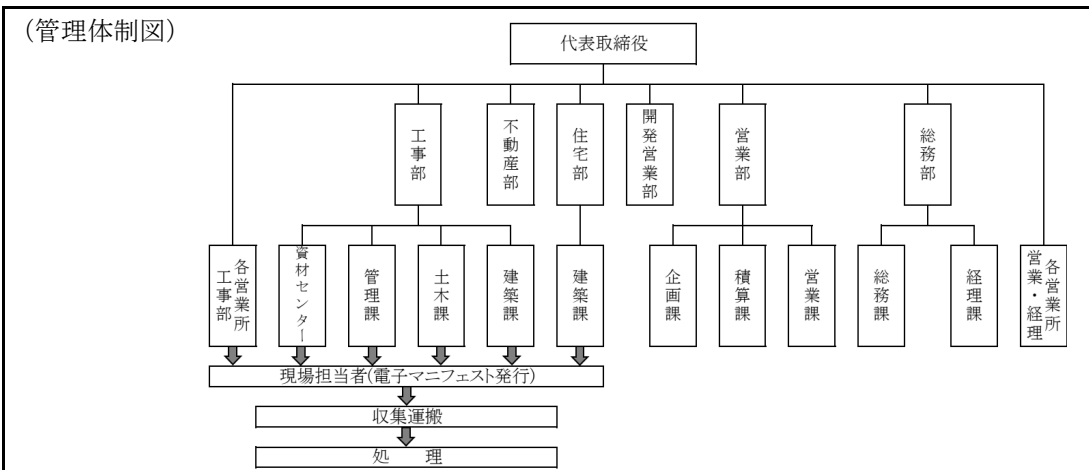
電話番号 0545 - 63 - 2771

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	平和建設株式会社		
事業場の所在地	静岡県	富士市	松岡1566-1
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	総合工事業		
② 事業の規模	50億		
③ 従業員数	72名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR; A[現場保管] --> B[収集運搬]; B --> C[中間処理]; C --> D[最終]; D --> E[再生利用]; D --> A;</pre>		

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5年度）実績】	
産業廃棄物の種類	排出量
汚泥（泥状のもの）	781.696 t
廃プラスチック類	13.230 t
塩化ビニール製建設資材	4.280 t
紙くず	1.200 t
木くず	242.710 t
建設工事の木くず	2.920 t
金属くず	13.560 t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	19.060 t
ガラスくず	3.320 t
ロックウール	0.240 t
石膏ボード	32.980 t
A L C（軽量気泡コンクリート）	5.000 t
がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	35.220 t
コンクリート破片	2,977.840 t
アスファルト・コンクリート破片	2,079.000 t
建設混合廃棄物	105.144 t
安定型建設混合廃棄物	2.080 t
管理型建設混合廃棄物	4.368 t

①現状

管理型混合廃棄物	20.820 t
がれき類 (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)	10.960 t
石綿含有産業廃棄物	0.300 t
(これまでに実施した取組) 再生化率向上のため、産業廃棄物の分別及び優良認定処理業者への委託等を進めてきた。	
【目標】	
産業廃棄物の種類	排出量
汚泥 (泥状のもの)	703.526 t
廃プラスチック類	11.907 t
塩化ビニール製建設資材	3.852 t
紙くず	1.080 t
ダンボール	3.240 t
木くず	218.439 t
建設工事の木くず	2.628 t
金属くず	12.204 t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	17.154 t
ガラスくず	2.988 t
ロックウール	0.216 t
石膏ボード	29.682 t
A L C (軽量気泡コンクリート)	4.500 t
がれき類 (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)	31.698 t
コンクリート破片	2,680.056 t
アスファルト・コンクリート破片	1,871.100 t
建設混合廃棄物	94.630 t
安定型建設混合廃棄物	1.872 t
管理型建設混合廃棄物	3.931 t
管理型混合廃棄物	18.738 t

②計画

		がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	9.864 t
		<p>（今後実施する予定の取組） 現場での産業廃棄物削減と分別を推進し、再資源化率向上に努める。</p>	
産業廃棄物の分別に関する事項			
	①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 小工事及び街中での工事ほど廃棄物の分別置場面積を確保することが難しく、建設混合廃棄物として処理した現場が多い。</p>	
	②計画	<p>（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場ごとの分別目標を設定し、廃棄物ボックスと小さいトンパック使用で、できるだけ混合を避ける取組みを行っていく。</p>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状			【前年度（令和 5年度）実績】	
			産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
				0.000 t
			(これまでに実施した取組)	
			【目標】	
			産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量

②計画		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
【前年度（令和 5 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t

①現状

	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
【これまで実施した取組】		
【目標】		
産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t
	0.000 t	0.000 t

②計画		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量

②計画		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	【前年度（令和 5 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

①現状

	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
汚泥（泥状のもの）	0.000	781.696	0.000	0.000	781.696
廃プラスチック類	5.250	5.250	0.000	0.000	13.230
塩化ビニール製建設資材	0.000	0.000	0.000	0.000	4.280
紙くず	1.200	1.200	0.000	0.000	1.200
ダンボール	1.200	3.600	0.000	0.000	3.600
木くず	220.690	242.710	0.000	0.000	242.710
建設工事の木くず	2.920	2.920	0.000	0.000	2.920
金属くず	0.000	13.560	0.000	0.000	13.560
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.000	0.000	0.000	0.000	19.060
ガラスくず	0.000	0.000	0.000	0.000	3.320
ロックウール	0.000	0.000	0.000	0.000	0.240
石膏ボード	10.920	29.900	0.000	0.000	32.980
A L C（軽量気泡コンクリート）	0.000	5.000	0.000	0.000	5.000
がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	20.720	0.000	0.000	0.000	35.220
コンクリート破片	72.012	2,977.840	0.000	0.000	2,977.840
アスファルト・コンクリート破片	0.000	2,079.000	0.000	0.000	2,079.000
建設混合廃棄物	36.712	43.316	0.000	0.000	105.144
安定型建設混合廃棄物	0.000	0.000	0.000	0.000	2.080
管理型建設混合廃棄物	3.120	3.328	0.000	0.000	4.368
管理型混合廃棄物	16.900	18.980	0.000	0.000	20.820

		がれき類（工作物の 新築、改築又は除去に 伴って生じた不要物）	0.000	0.000	0.000	0.000	10.960
		<p>（これまでに実施した取組） 再生利用処理業者への委託を推進してきた。</p>					

【目標】					
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

②計画

		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(今後実施する予定の取組)						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。